【明治5年創刊】明治25年3月8日 第3種郵便物認可 ©毎日新聞社 2017

MAINICHI
毎日新聞
9月3日（日）
2017年（平成29年）
発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051　電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

号外

北朝鮮6回目核実験

「水爆」とみられる物体を視察する北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長（右から2人目）。朝鮮中央通信が3日配信した＝朝鮮通信・共同

トランプ政権に対抗か

能力進展を誇示

【ソウル大貫智子】韓国気象庁は3日、北朝鮮北東部の咸鏡（ハムギョン）北道（ブクド）吉州（キルジュ）郡豊渓里（プンゲリ）付近で3日午後0時29分ごろ、人工地震と推定される地震波が観測されたと明らかにした。聯合ニュースが伝えた。日本の河野太郎外相は、北朝鮮が核実験を実施したと断定した。韓国当局によると、地震の規模を示すマグニチュード（M）は5・7、震源の深さは0キロと推定される。

北朝鮮の核実験は昨年9月9日に続き、6回目。対北朝鮮政策で強硬姿勢を見せる米トランプ政権に対して核能力の進展を誇示する狙いがあるとみられる。国際社会からさらに強い非難を浴びそうだ。

北朝鮮の朝鮮中央通信は3日、金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党委員長が新たに製造された大陸間弾道ミサイル（ICBM）の弾頭部に装着する「水爆」を視察したと報じた。開発した核弾頭は、コンピューターに障害を生じさせる「電磁パルス弾」としての使用も可能と主張。金委員長は「強力な核兵器をどんどん製造できるようになった」と述べた。

前回の核実験について北朝鮮は「核弾頭としての性能と威力を最終的に確認してきた」と説明。その8カ月前の同年1月6日には、少量の核融合物質を使って核分裂を強める「ブースト型核分裂爆弾」の可能性が高いと見られる核実験を強行した。

購読お申し込み　毎日新聞のニュースサイト https://mainichi.jp/　専用フリーダイヤル 0120-468012（ヨムハマイニチ）